

後期基本計画 令和元年度 政策方針評価書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 長内 司善
----------	--------------

1. 政策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

		目指す姿は「競争力・市場性のある産業と、安定した雇用・定住・後継者育成が循環的に発展するまち」です。各産業分野と労働力が、滝沢市の特性や地域資源を活用しながら、交流人口、異業種連携、付加価値などによりバランスよく発展するとともに、市民や地域が潤っている状況です。					
--	--	---	--	--	--	--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分の仕事に満足している人の割合 単位 %	55.1	57 53.4	58 -	60 -	61 -	61 -	D △28.8
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	36.3	40 36.6	43 -	47 -	50 -	50 -	C 2.2
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	47.1	43.9 48.7	46 -	48 -	50 -	50 -	B 55.2
2	幸福 03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	69.2	76 69.1	77 -	78 -	80 -	80 -	D △0.9
3	暮らし 03020000 ICT関連企業集積と産学官連携の推進 法人事業所数 単位 所以上	949	956 967	956 -	956 -	956 -	956 -	A 257.1
4	幸福 03020000 ICT関連企業集積と産学官連携の推進 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	34.6	39 36.6	43 -	46 -	50 -	50 -	C 13.0
5	暮らし 03030000 農林業の振興と担い手の支援 農業後継者（販売農家）の有無の割合 単位 %以上	58.6	58.6 58.6	58.6 -	58.6 -	58.6 -	58.6 -	D 0.0
6	幸福 03030000 農林業の振興と担い手の支援 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で生かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	34.6	39 36.6	43 -	46 -	50 -	50 -	C 13.0

後期基本計画 令和元年度 政策方針評価書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 長内 司善
----------	--------------

2. 政策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションセンター・同パークには、今後本市の産業の核となると思われる企業が集積しつつあり、パークには、新たに2社の社屋が完成しております。 ・第1産業については、「人・農地プラン」を基に地域との話し合いによりプランの実質化や農地集積が推進されました。 ・都市一極集中等で人手不足は継続しており、農業分野、市内小規模企業などでは、後継者不足などによる事業の承継等の将来に不安がある状況です。そのため、関係機関と連携し新規就農や事業継承など支援してまいりました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

C	一部達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の潤いにつながる観光資源の発信 ・ICT関連企業集積と産学官連携の推進 ・農林業の振興と担い手支援 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグルーフ滝沢の活用や地域おこし協力隊による情報発信に取り組みました。 ・イノベーションパークに新たに2社の社屋が完成し、また同センターに企業誘致を推進しました。更には、(仮称)産業振興条例の制定に取り組むこととし、人材と企業がともに成長しやすい環境整備やIT関連企業と地域連携を推進しました。 ・担い手への農地集積の推進、日本型直接支払の推進し、持続可能な農業経営帯の育成を図りました。 	

3. 政策の実現に向けて令和元年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

B	取組みの一部見直しが必要
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TPP11をはじめとした関税引き下げ協定、低価格化競争 ・日本をはじめ世界各国で新型コロナウイルス感染症の発症による新たな仕組みづくり ・テレワークやリモートによる管理など、ICT関連の今後の成長と影響 ・新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、インバウンドの減少 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、会議や講演会、イベントなどの中止や延期 ・県や広域市町等との連携や情報共有の強化 ・「新しい生活様式」への対応 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を見極めるとともに、農業、観光、企業の各分野における関係機関との連携や情報共有、対策や支援に取り組み地域と一体となり産業を支える取り組みが必要です。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県立大学と滝沢市IPUイノベーションパーク内の企業が連携する仕組みづくり、学生と企業が常態的に交流する状態を作る必要があります。 ・人・農地プランの実質化や森林環境譲与税を活用した民有林の整備、担い手や新規就農者の確保が必要です。 ・観光物産の情報発信を推進し、また地域人材が交流を深め、新たな観光産業の共創に取り組む必要があります。 ・ふるさと納税のPR強化を推進します。 	

